

今週のビルマのニュース
2009年9月4日【0934号】

コーカン地区の戦闘が終結 難民の帰国も始まる

・ビルマ北東部コーカン地区で8月末に起きたビルマ国軍とコーカン軍との戦闘は一応終結した。死者数は軍政発表によれば双方で34人。中国側に数万人の難民が逃れていたが、帰国も始まった(2日AFPほか)。軍政は国営紙にほぼ連日「コーカン地区には平和が戻り、行政機能も回復した」とする記事を出し、同地区の安定を強調している。

・国軍兵士が同地区に住む中国人住民に暴力をふるい、店の商品等を略奪したという報告もある(3日イラワディほか)。中国は以前から国境地帯での紛争発生を望まないことを軍政側に伝えており(4日NYタイムズ)、戦闘開始後の8月28日には「国境地帯の安定維持を期待する」と珍しく軍政を非難した。

軍政、次はワ州連合軍を狙う？ 住民が避難

・コーカン軍の司令官が、同盟しているワ州連合軍(UWSA)の支配地域(シャン州北東部)に逃げたとの情報もある。ビルマ軍は同地域へ増派し、司令官の身柄引き渡しをUWSAに求めたが、UWSAは回答していない。国軍とUWSAとの戦闘を恐れて住民数百人が中国やシャン州の他地域に逃げている(2日DVB、3日シャン・ヘラルドほか)。

【背景】軍政は来年予定の総選挙を前に、停戦協定を結んだ武装組織に対しそれぞれの軍部を国境警備隊に再編し、国軍の指揮下に入れるよう要求しているが、UWSAを含むほとんどの組織は拒否している。

アウンサンスーチー氏が控訴 自宅の改修も検討

・民主化運動指導者アウンサンスーチー氏の弁護団は3日、氏が宣告された有罪判決を不服としてヤンゴン地裁で控訴手続きを行い、4日に受理された。弁護団は「裁判は失効したはずの法律に基づいて行われ、有罪判決は違法」などと主張している。控訴審は18日からの予定(3日DVB・BBC、4日AP)。

【背景】アウンサンスーチー氏は5月に国家防衛法の下で起訴され、8月に禁固3年の有罪判決を宣告された。現在は減刑措置を受けて自宅軟禁中。裁判は、軍政が来年予定の総選挙を前に、国民の支持を集める氏の拘束を続けるために仕掛けたとの見方が大勢。

・アウンサンスーチー氏は、警備強化のため自宅の部分的な改修工事を検討中で、弁護士を通じて建築家に相談している(1日DVB)。

「無国籍」シャン少年、日本への渡航を許可される

・タイ政府は3日、紙飛行機の滞空時間を競う大会のタイ予選で優勝したシャン民族の少年(12)に、本大会が開かれる日本への渡航許可を特別に出した。少年の両親は移民労働者としてタイで働くビルマ出身のシャン民族。少年はタイでは「無国籍」扱いでパスポートの発給を受けられないため、タイ政府は当初、渡航を認めていなかった(4日毎日新聞)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか ビルマ軍政に対しアウンサンスーチーさんと全ての政治囚の釈放と民主化勢力との対話を要請するアピール行動(在日ビルマ大使館前、31~4日15~16時)

・宇田有三プチ写真展 写真等販売有(京都市中京区「森の小枝」、月曜除き13日まで、11~19時)

・ビルマの僧侶に連帯する仏教徒の会 連続講座「仏教と現代」2009第3回「ビルマの声が聞こえていますか」講師ココラット氏(ビルマ政治難民)(広島、5日17時半~)

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会 梶藍子さん特別講演「メータオ・クリニック現地活動報告」(阪南大学サテライト、6日16時~)

・第13回ビルマ市民フォーラム総会・最新のビルマ情勢報告(仮題) 報告者 根本敬氏・秋元由紀氏(池袋・ECOとしま8階、12日18時~)

・日本ビルマ救援センター「2009年夏 国境訪問報告会」(クレオ大阪東 研修室2F、20日18時~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165